

MTEX 5. 1. 1 付属U x d データ解析手順

2021年09月12日

HelperTex Office

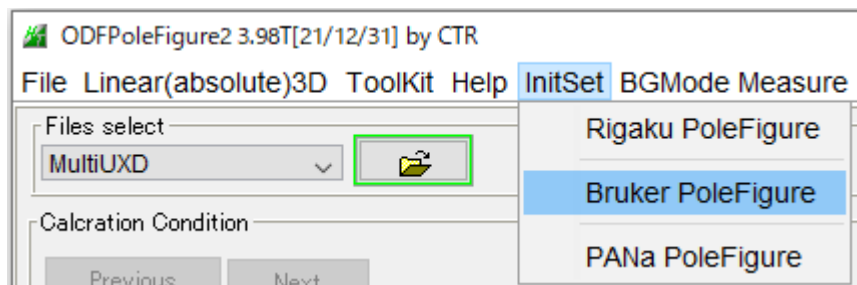
概要

従来は、複数の極点図とバックグラウンドが同一ファイルに収録されたデータを解析したが
今回は極点図が別々のファイルに登録されているデータの解析を行う

(C:) > mtex-5.1.1 > data > PoleFigure > ZnCuTi

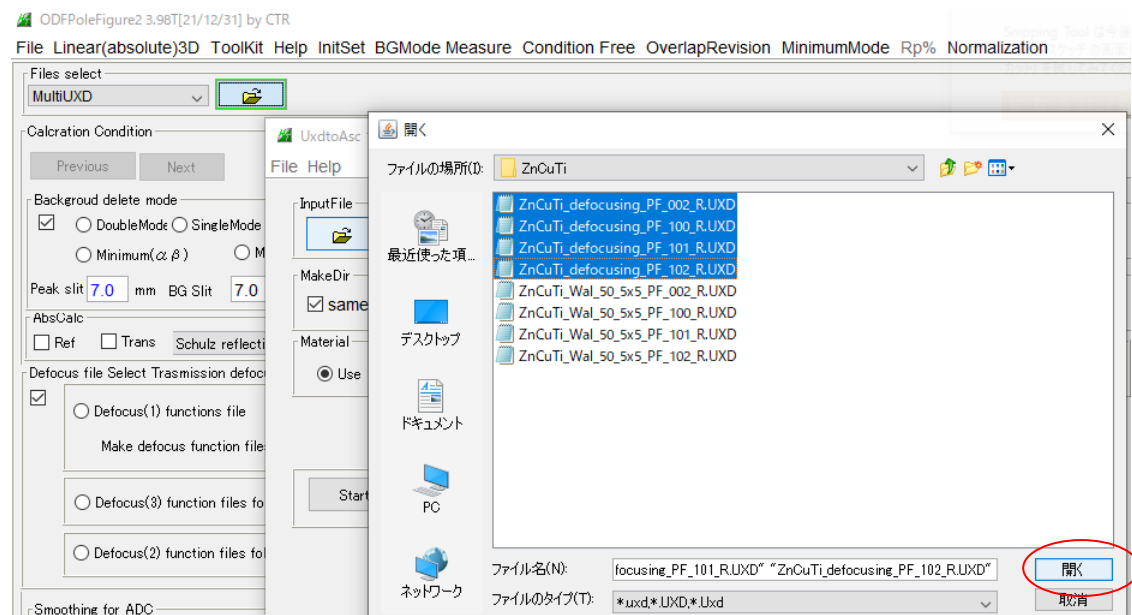
名前	更新日時	種類	サイズ
ZnCuTi_defocusing_PF_101_R.UXD	2020/10/15 5:49	UXD ファイル	33 KB
ZnCuTi_defocusing_PF_002_R.UXD	2020/10/15 5:49	UXD ファイル	33 KB
ZnCuTi_defocusing_PF_100_R.UXD	2020/10/15 5:49	UXD ファイル	33 KB
ZnCuTi_defocusing_PF_102_R.UXD	2020/10/15 5:49	UXD ファイル	33 KB
ZnCuTi_Wal_50_5x5_PF_002_R.UXD	2020/10/15 5:49	UXD ファイル	33 KB
ZnCuTi_Wal_50_5x5_PF_100_R.UXD	2020/10/15 5:49	UXD ファイル	33 KB
ZnCuTi_Wal_50_5x5_PF_101_R.UXD	2020/10/15 5:49	UXD ファイル	33 KB
ZnCuTi_Wal_50_5x5_PF_102_R.UXD	2020/10/15 5:49	UXD ファイル	33 KB

U x d モード

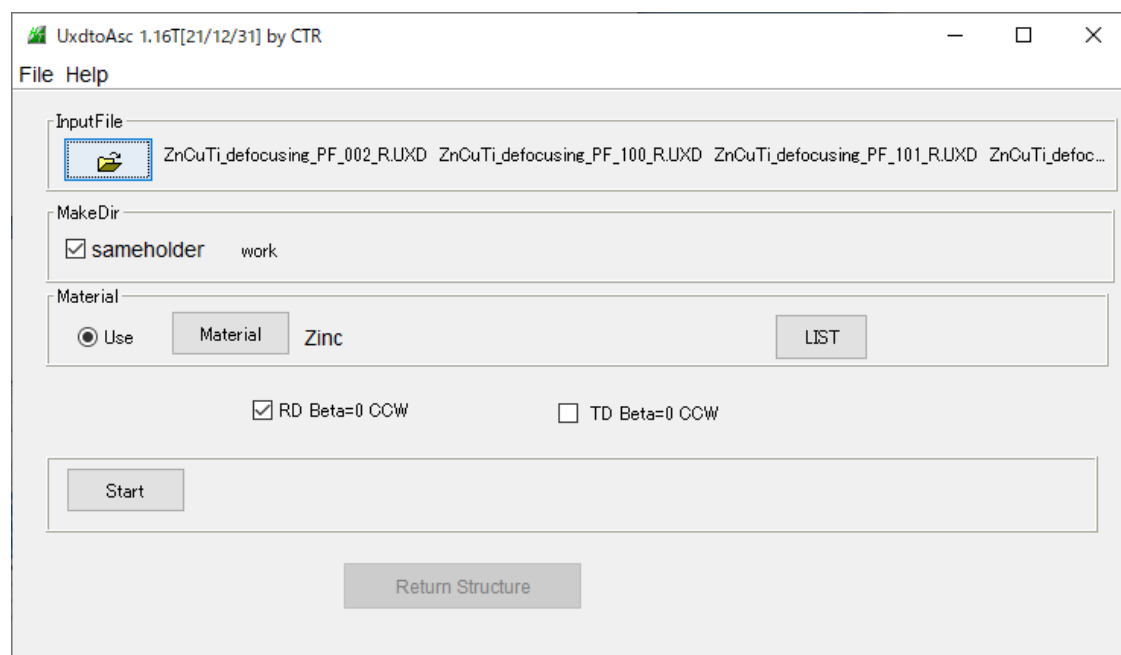


defocusデータ

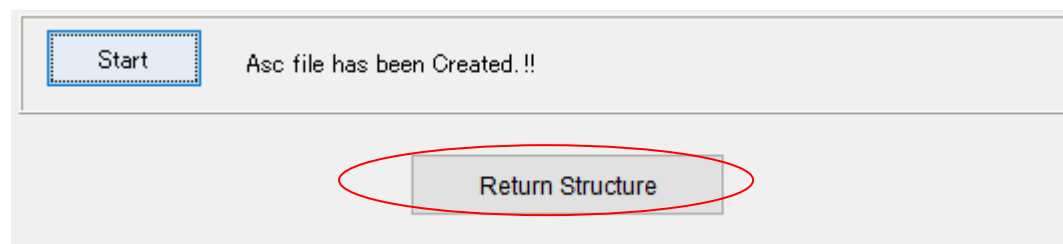
ファイル選択



選択したUXDを表示

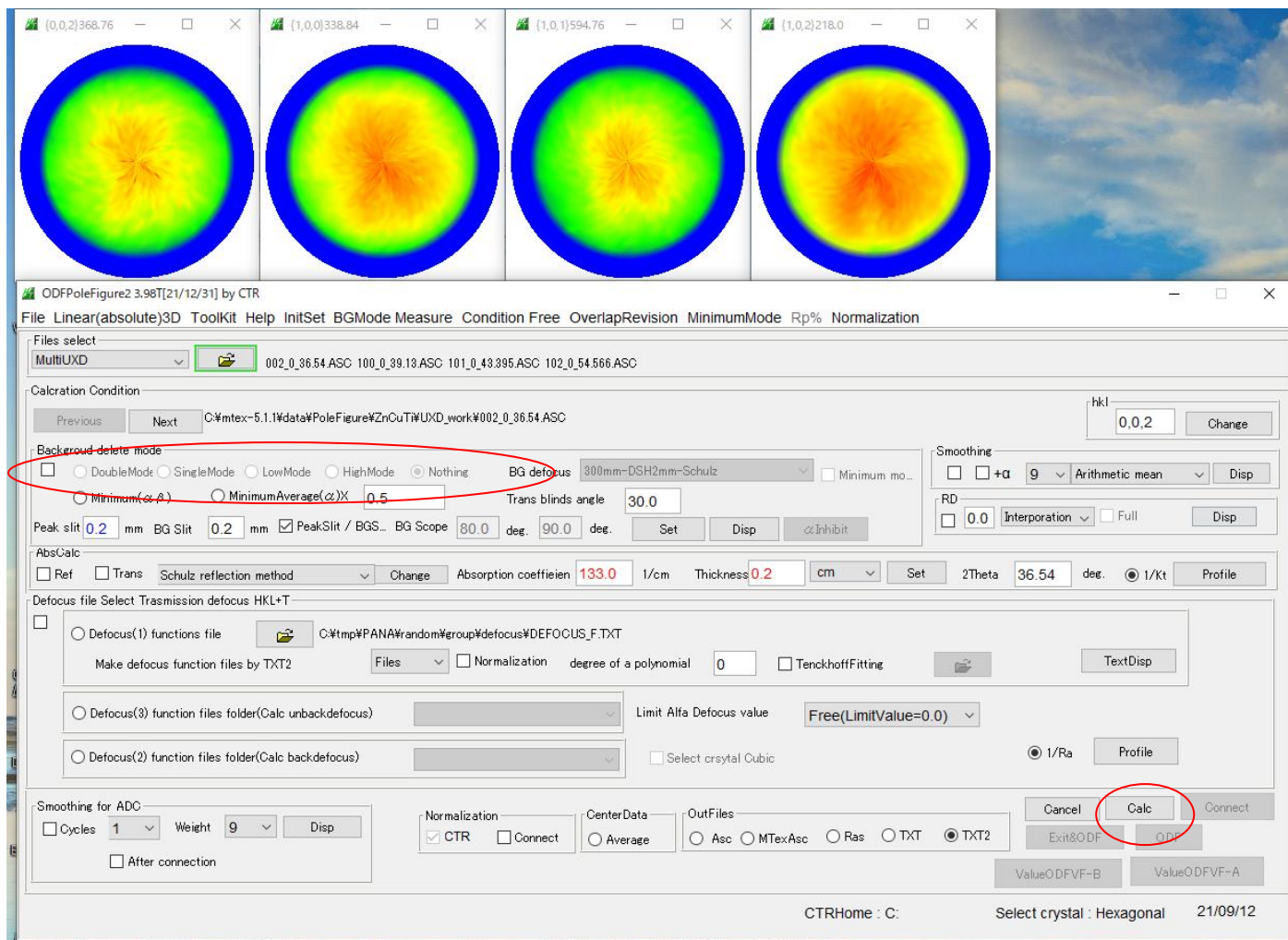


UXD→ASC変換



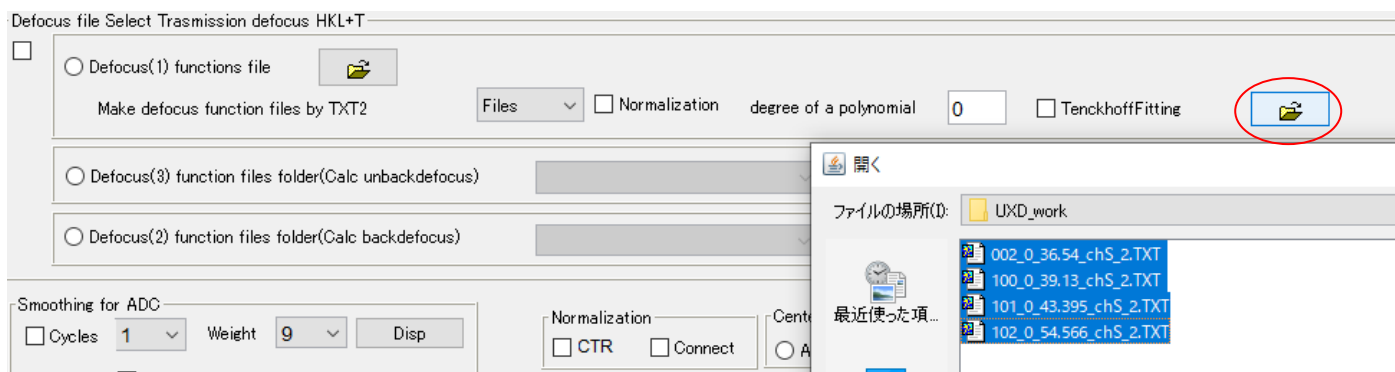
A S C 変換した極点図を表示

しかし、バックグラウンド登録なし

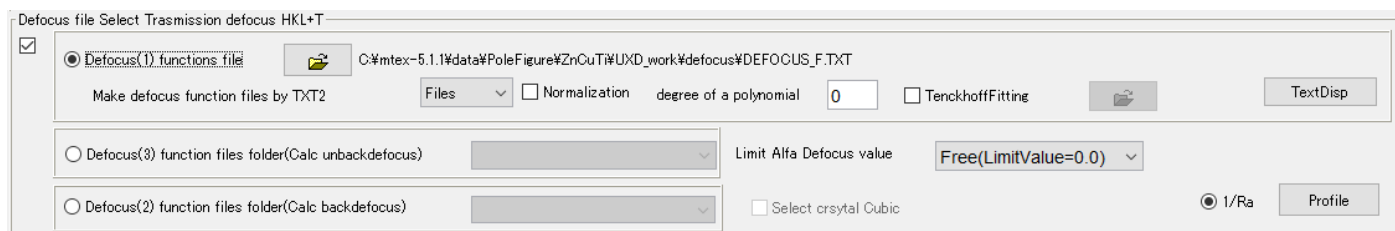


c a l c で A S C → T X T 2 変換

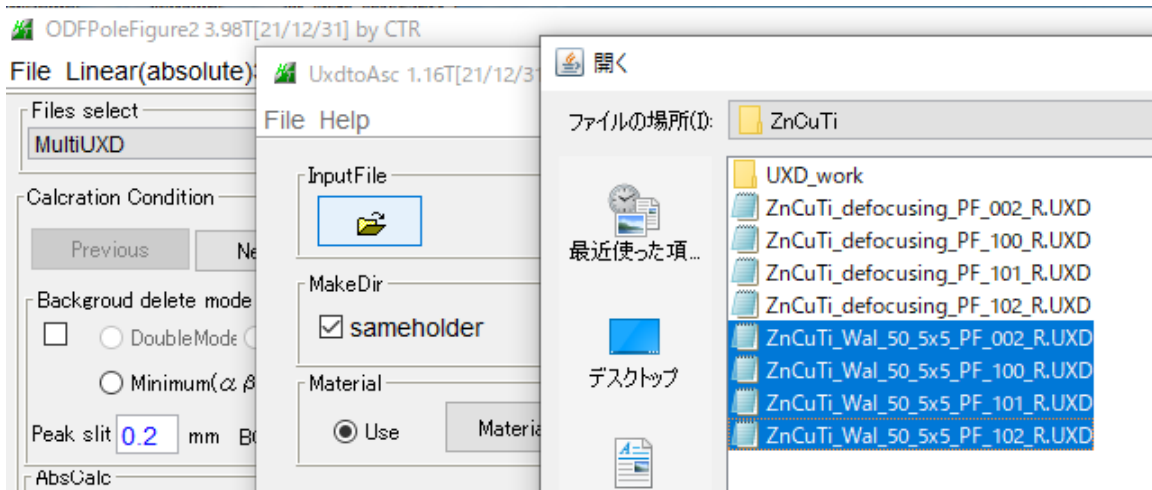
d e f o c u s に T X T 2 を登録



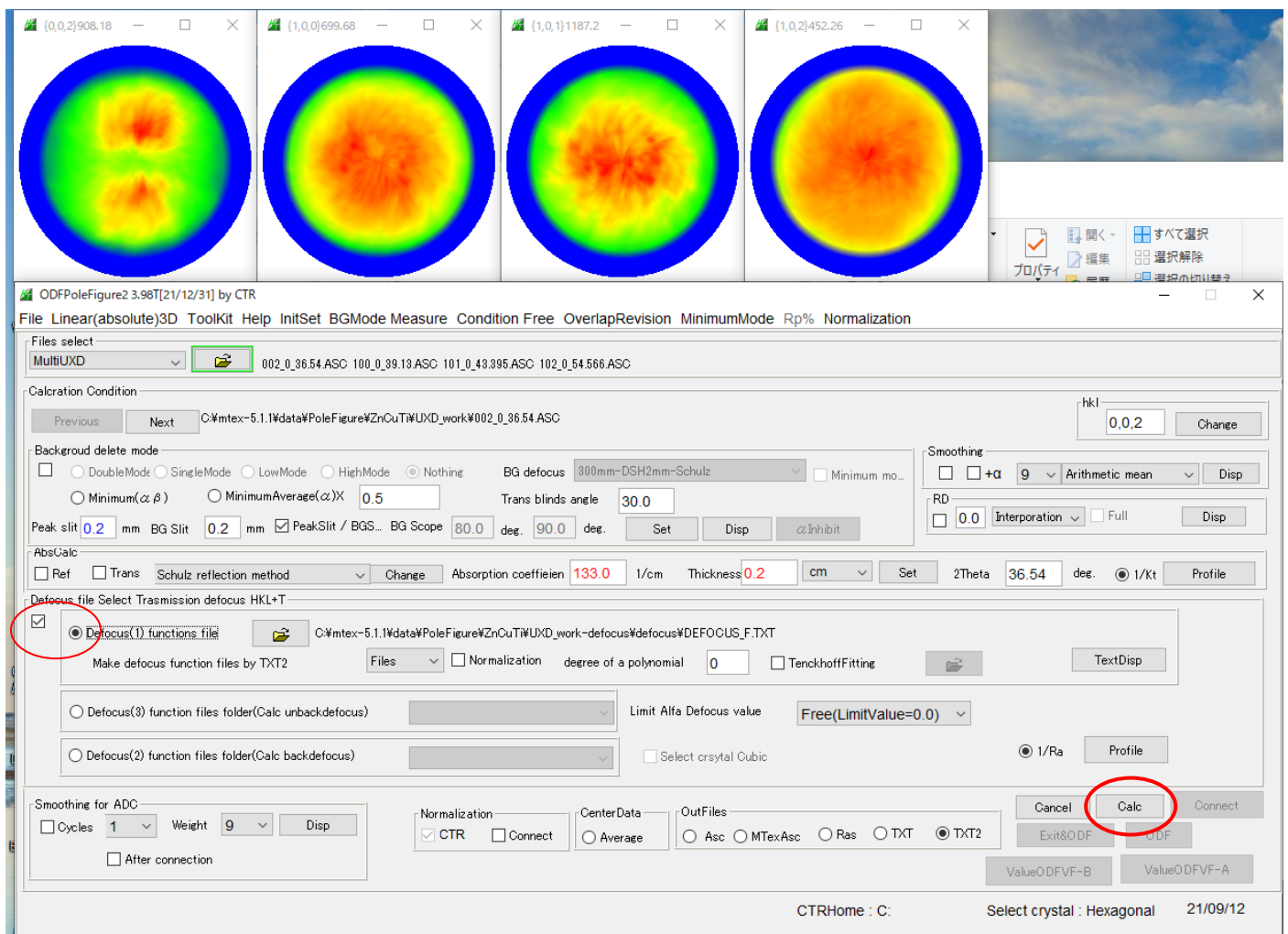
d e f o c u s 曲線が登録される



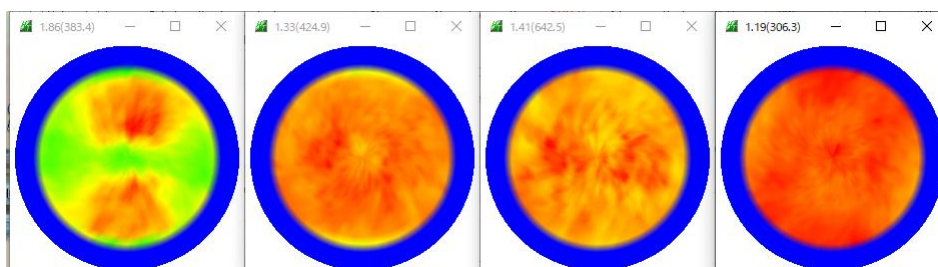
Meta1の解析



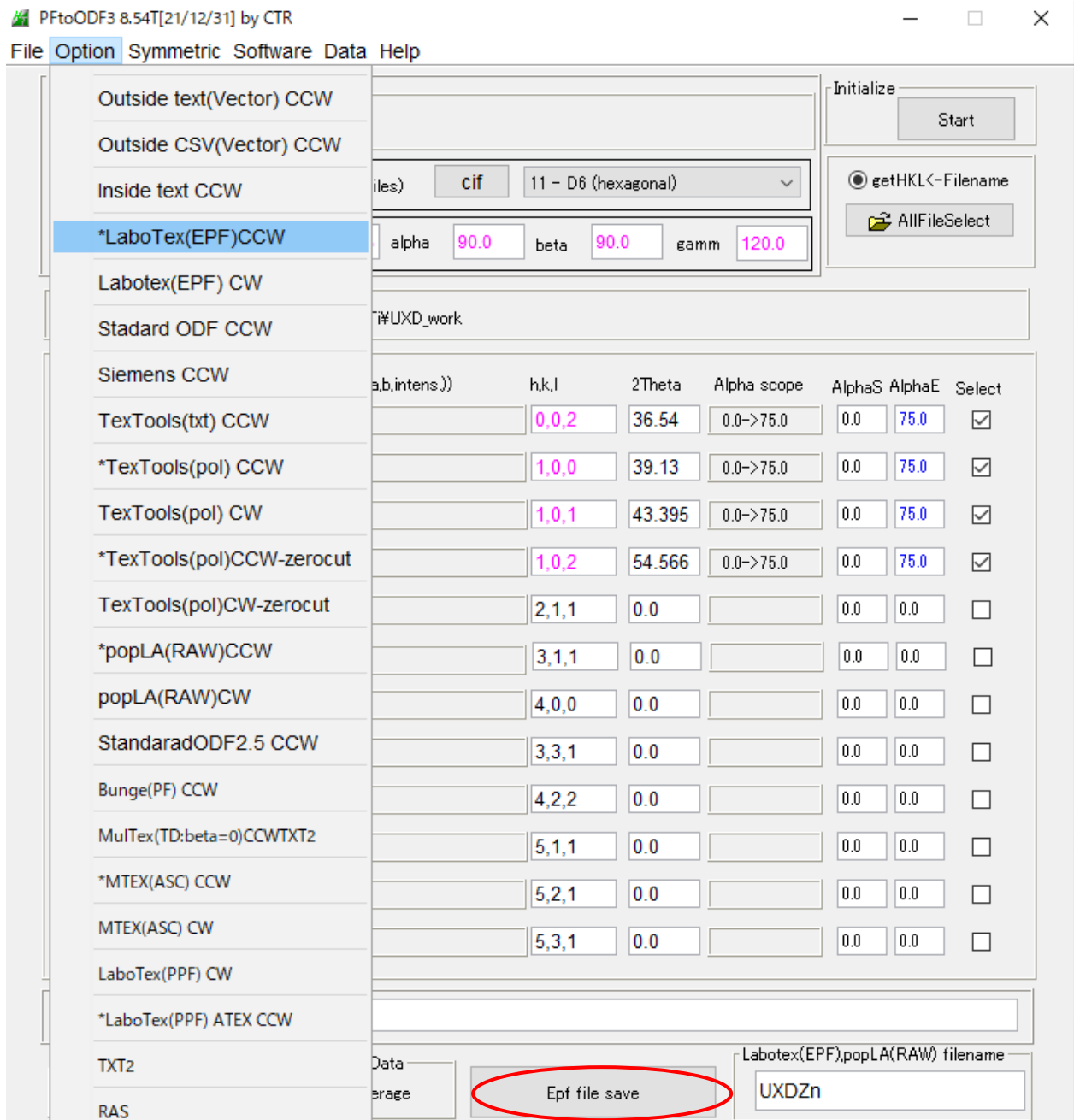
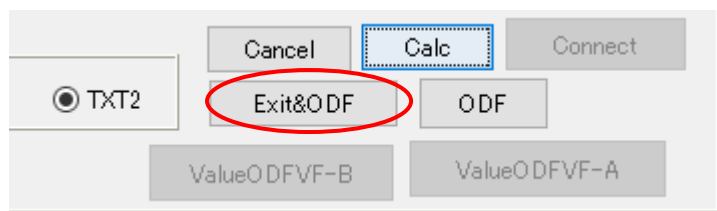
defocusと同じ操作でASC変換



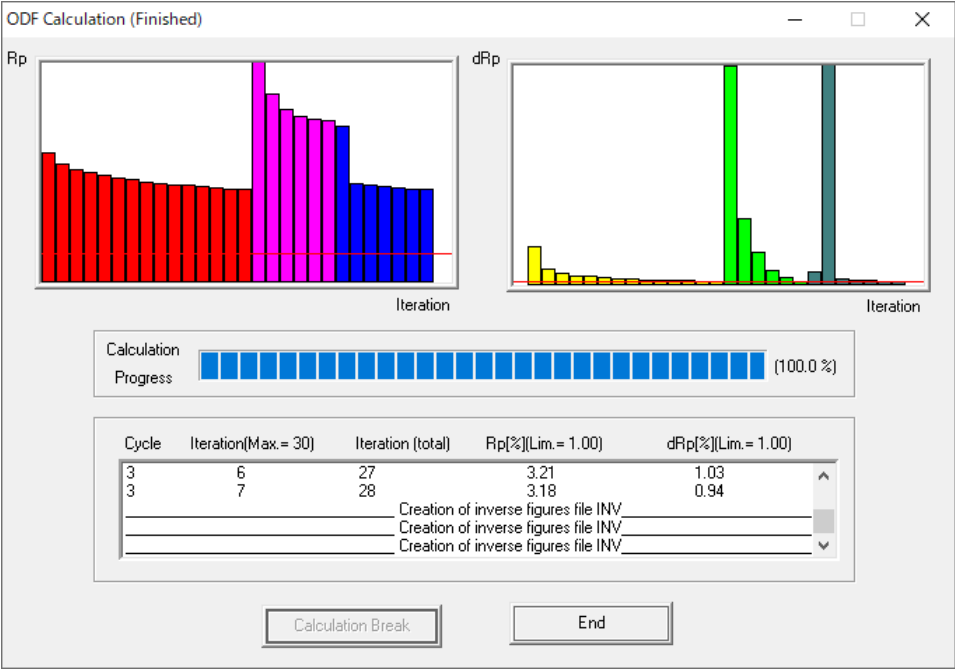
defocus補正を行う。



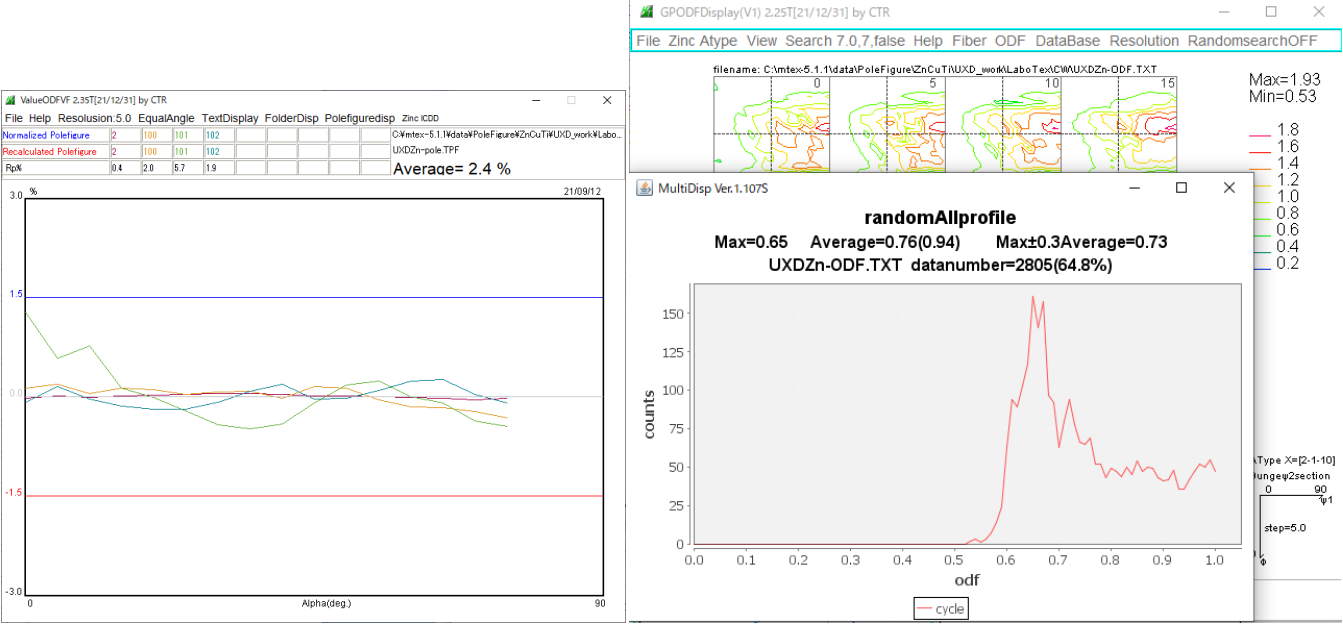
ODF 向けファイルを作成



LaboTexで読み込み



再計算極点図、ODFをExportしR o %とrandom levelの計算



バックグラウンドを差し引いていないのでバックグラウンドが高く、R p % = 2. 4 %

又、random level = 6 5 %

これもバックグラウンド削除を行っていないため、評価できない。

OD F 解析結果

